

# 「いざ、土やぐら城へ！」の巻

土やぐら城は、広大な湿地帯だった多古の水運掌握の役目を担った城郭遺構だと推測されます。借当川を臨む台地の先端に築かれていて、奥に続く中村地区を守る役目を持っていたとも考えられます。同じ台地の北西突端には物見台城があります。この城は、横堀、虎口が確認でき、方形居館の跡も残る中世城郭として確認できます。この城と、さらに谷を挟んで存在する中城が土やぐら城の築城意義を解き明かす鍵になるかもしれません。土やぐら城自体の詳細は不明ですが、複数の城郭が連携して機能していたと思われる、それこそが多古の城郭群の特色といえるでしょう。

ぜひ、多古を訪れて、谷や台地、そこを流れる川、そしてその周辺に築かれた城に足を運び、多古の歴史の面白さを感じてください ✨

土やぐら城に隣接して物見台城があります。

土やぐら城と同じ台地上の北西の位置！

現在、諏訪神社が建っている周辺一帯です！



土やぐら城から眺めるとこのあたりに篠本城



横芝光町の篠本城は15c前半から16c前半に機能していたと思われる。発掘調査で、なんと曜変天目の欠片が出土！この地域の拠点の城だったと思われる。多古の城とはどういう関係だったのでしょうか？この距離で敵対したのかも！

土やぐら城の堀とされてる箇所



土やぐら城の檜台と思われる、こんもりした土の盛り上がりが残る



山城ガールむつみ

## 江戸時代に描かれた土やぐら城の絵図



「土屋くら」と書かれています

「中城平地」

「中城坂」

土やぐら城と物見台城が築かれた台地と、谷を挟んで中城があります。土やぐら城絵図には「中城坂」「中城平地」という文字が書かれています。中城と土やぐら城の関係は？！中城の外郭部に当たる城なのかも？！

「土もぐら」じゃなくて…土やぐらよ～



遊びにきてね♡



多古の新米があさんふっくらたまこ